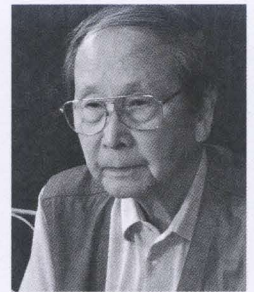


春陽会東京研究会講演会 2018

「構図」を考える

- 講師：横山了平氏〈春陽会会員〉
- 日時：10月14日（日） 13:30～16:30
- 会場：中野サンプラザ8階 研修室1室
東京都中野区4-1-1 JR 中野駅北口
tel. 03-3388-1174
- 料金：無料



横山了平（よこやま・りょうへい）
 1933年 満州国に生まれる
 1956年 東京藝術大学卒業
 1958年 春陽展に出品 以後毎年出品
 1963年 春陽会会員になる
 現在 春陽会会員 東京学芸大学名誉教授
 著書に『水彩画の制作』（理工学社）、『水彩の技法』（第一法規出版）『構図の生かし方』（アトリエ社）、他多数



横山了平《アトリエ》
F120, 油彩, 2018年, 第95回春陽展より

C O N T E N T S

(1) 序にかえて

○山口薫の言葉 ○マティスの言葉 ○モローの言葉

(2) 構図(造形力)の機能とは

○建築的な構造 ○心理的な操作

(3) 先達に学ぶ

○恩師 加山四郎の造形主義 ○岡鹿之助の秩序感と詩情の構築 ○中川一政の「日本人の油絵」の創造 ○研究会 藤井令太郎の意欲とバランスへの警告...etc.

(4) 「モネ それからの100年」展を観て考えたこと

○モチーフ(睡蓮)を4年も費やして造る ○キャンヴァスの型と構図の変化 ○関連作品ロスコの四辺形とマチエール ○ドーレ・アシュトンの解説について

(5) 映像(スライド)による構図の観察

○ジョット, カラヴァッジョ, アングル, セザンヌ, デノワイエ, ピカソ, ルノアール, マティス, モンドリアン, サザーランド, ビュッフェ, ベーコン, タピエス, ルーシー・ウィリス, 岸田劉生, 岡鹿之助, 安井曾太郎, 山口薫, 加山四郎